

好きな時に、好きな場所へ、最速で  
人生の大切な「時間」を生み出す



次世代交通イノベーションとともに

株式会社AirX 代表取締役 手塚 究  
kiwamu@airx.co.jp

## Our Mission



**We  
Create the  
Free Sky Road**

空を身近に活用できる世界を構築し、人類の生活圏を拡大する

1.空の利活用の意義

2.これまでのAirXの取り組み

3.想定されるビジネスモデル

4.空の利活用に向けた課題

5.Q&A



# 空の利活用の意義

# 市場機会

2023年～2050年

航空機イノベーション



空を身近に活用できる世界へ



「遊ぶ」「住む」「働く」  
場所が拡大



# 生活圏、経済圏の拡大



人、モノの移動が便利に  
ライフスタイルが豊かに



# 2020年代～ エアモビリティ

「電動」「自律化」「垂直離着陸」



- 静粛性&自律飛行&マルチエンジン
  - => 安全性向上
  - => 離着陸場の増加(都心&屋上)
  - => 運用時間の拡大(早朝&夜間)
  - => 運航可能な天候条件拡大
  - => 従事人材&機数のスケール
- 運航コストの低減
  - => 需要増
  - => 交通インフラ(観光/ビジネス)
  - => 災害支援

# 都市

## 迅速、快適な移動

(多額のインフラ投資をせず渋滞や混雑、複数の乗り換えの問題を解決)



# 災害時

## 迅速な災害支援

(既存インフラの復旧等を待たずに人命救助、物資輸送の支援が可能に)



# 観光地

## 交通空白地の移動

(過疎地や中山間地での活用、駅近でないエリアの観光需要の創出等)





# これまでのAirXの取り組み

# 観光×防災 空の次世代交通インフラへ



より快適により効率的に移動できる社会を実現

ヘリコプターシェア  
サービス

航空機イノベーションを見据えた  
**次世代交通ビジネス**

## エアモビリティのデジタル交通プラットフォーム



# AirXの提供する主要なサービス



## AIROS Skyview エアロス スカイビュー

[ヘリコプターの観光遊覧事業]  
東京、京都、大阪、横浜を中心に  
年間数千件以上のフライトを実施



## AIROS エアロス

[ヘリコプターのチャーター事業]  
東京、京都を起点に、観光地、ゴルフ場、レース場へ  
年間数百件以上の送迎フライトを実施



## CODESHARE コードシェア

[ヘリコプターのチャーター相席便事業]  
2017年11月よりサービス開始





## サービスサイトのイメージ

### ユーザーが迷わず選択できる

スタート画面で簡易な選択肢を提示

- ・「目的地と出発地から」
- ・「利用用途から」
- ・「既存プランから」

### 価格表示を明確にする

距離や人数での変動が一目で分かる

短時間で検索/比較ができる

数分で予約が完了できる

「最安値」「迅速な手配」が可能



## 最安値

“遊休航空機”及び“空席”の  
シェアサービスにより

全国の中から条件が良いものを選択可能

### 仕組み



#### 空便・空席マッチング

移動ニーズと空便・空席の  
マッチングシステム

#### 豊富なヘリリソース



航空会社/パートナー数 **11**



稼働可能ヘリ機体数 **99**



離発着可能ヘリポート数 **250**

## 迅速な手配

ヘリサービスのデータベース  
(機体 / 着陸地など)

及び専門のカスタマーサポートを設置

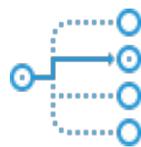
### 仕組み

#### ヘリ手配システム



- ・柔軟な予約システムの構築
- ・専門カスタマーサポートチーム

全国のヘリ&着陸地データベース

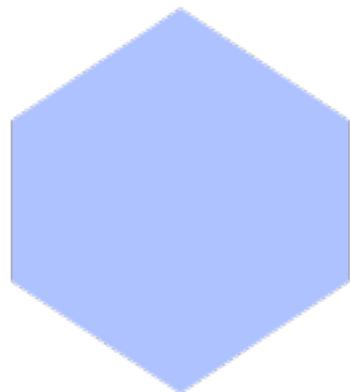


各社の在庫情報の管理  
(機体/料金/座席数/基地/着陸地)

# 移動で利用する際のメリット



遊休航空機の高稼働運用による  
空中モビリティシステムのアップデート



車：約2時間 → ヘリコプター：約35分

移動所要時間 **1/4**

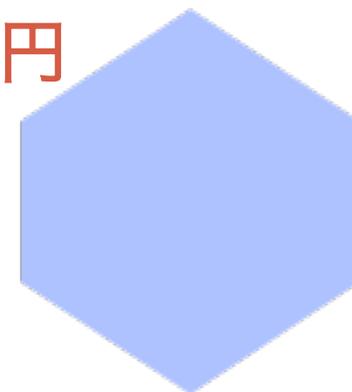
中間距離の問題を解決

従来：約30万円 → AirX：2万9800円

ヘリ利用料金 **1/10**

タクシー同等の距離料金の実現

※東京～箱根間 当社調べによる車との比較



従来の交通手段よりも“安価”に“速く”移動を提供

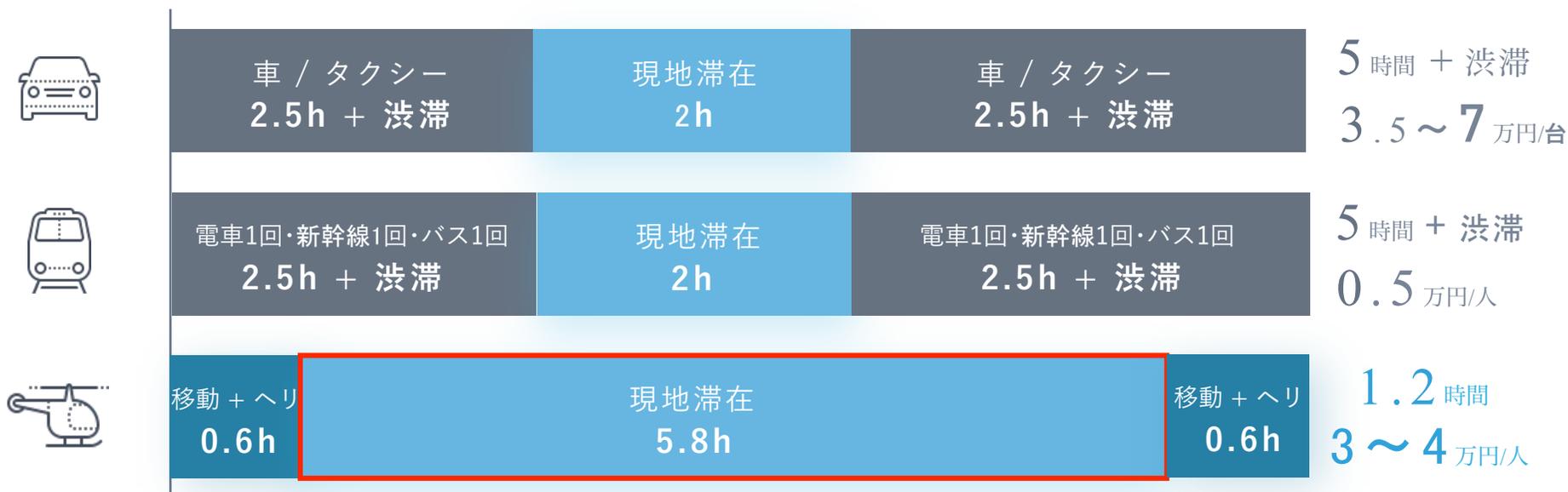
## もっと気軽に移動、滞在時間がたっぷり

空の移動によって100km先の移動を諦めない世界を実現

移動時間短縮で観光のあり方を刷新

### 東京都内～箱根

ヘリコプターと車のコスト・時間比較



# さらなるヘリ運賃の低減、需要創出が可能



運航収益が一定でも、「遊休ヘリ」と「空席」の稼働率上昇で1人あたり料金が低下

従来

着陸料  
+  
空輸費用  
+  
輸送費用

通常料金

56 万円

キ口5,600円

例：  
東京-箱根  
往復ヘリ料金

稼働率上昇で

1/4

稼働率UP

14 万円

キ口1,400円

AirX

空輸流通で

1/8

空輸分を他者が利用

7 万円

キ口700円

AirX×You

座席流通で

1/40

座席単位での流通

1.4 万円

キ口140円

AIROS (ヘリ&着陸地 データベース)によってオンデマンドでクイックにヘリ手配

## 乗りたい時にすぐ手配できるオンデマンドシステム

従来のヘリ手配にかかる  
所要時間

BEFORE

最短

1週間



見積作成

着陸地申請

機材・パイロット確保

整備士調整

振込入金確認

AIROSによって実現する  
手配所要時間

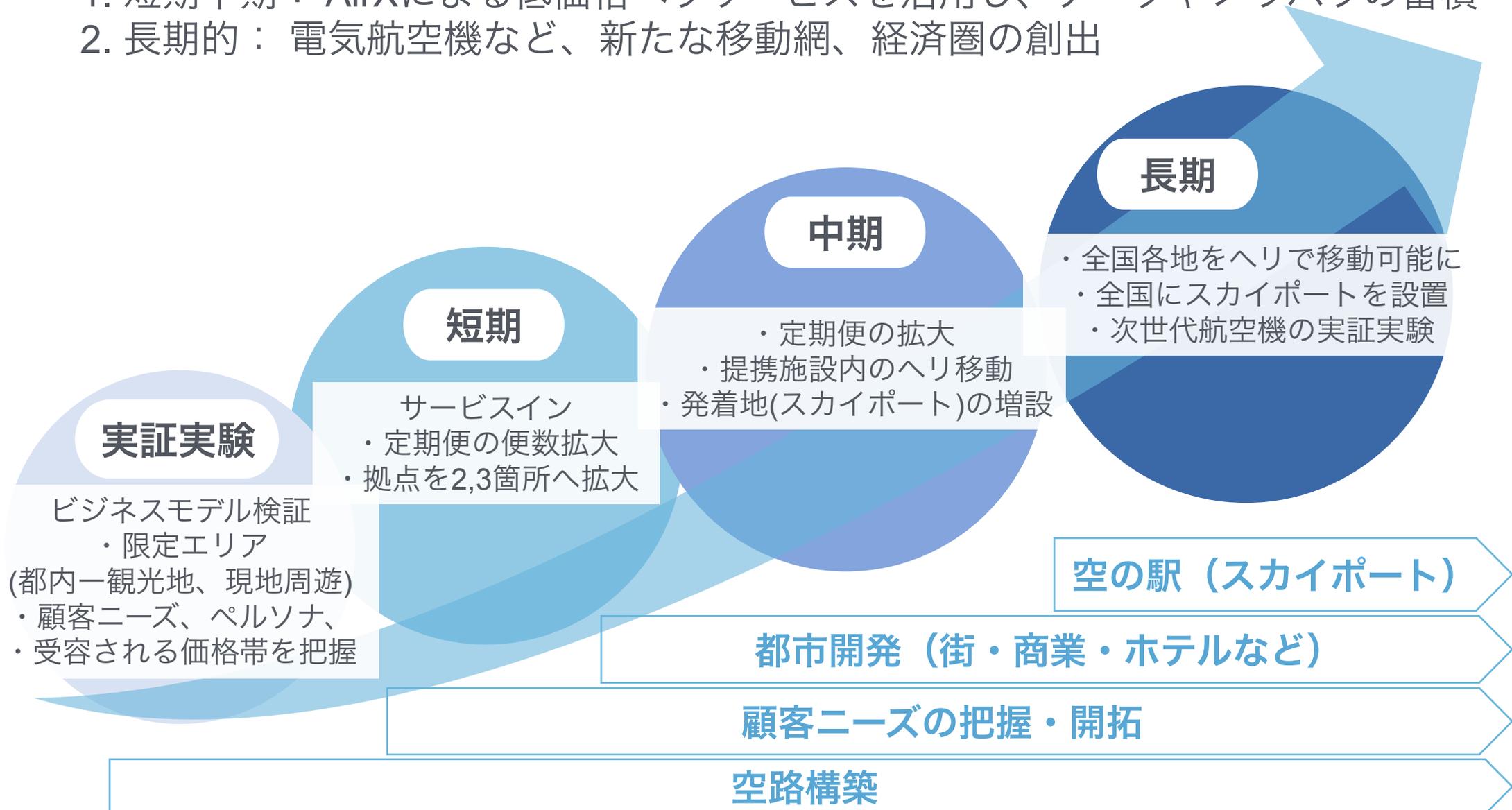
AFTER

最短

3分

## ゴールは航空機イノベーションを見据えた次世代交通ビジネス

1. 短期中期： AirXによる低価格ヘリサービスを活用し、データやノウハウの蓄積
2. 長期的： 電気航空機など、新たな移動網、経済圏の創出





Rotorcraft

日光

草津/伊香保

軽井沢



IBR



NRT

富士

東京

勝浦

**[短期中期目標]**

**AirXによる低価格ヘリサービスを活用し、  
データやノウハウの蓄積。**



FSZ

箱根

伊豆

館山

下田



Rotorcraft



eVTOL



東京

横浜

小田原

強羅

箱根

三島

伊豆

河口湖

山中湖

本栖湖

**[長期目標]**  
電気航空機、有人ドローンなど  
新たな移動網、経済圏の創出。



# AirXの取り組み事例

# (西武HDとの実証実験 箱根/下田直行便)

## ヘリによる観光需要

- ・ 実験期間 2019年7月19日～8月29日 (40日間)
- ・ 使用機種 乗客3人乗りヘリコプター
- ・ 単価 新木場 (東京ヘリポート) ⇄ 箱根 2万円 (35分)  
新木場 (東京ヘリポート) ⇄ 下田 3.3万円 (55分)
- ・ 予約人数  
受付開始すぐに100名突破

「手が届く贅沢」として、  
予約受付開始からわずか19日で予約100名突破  
幅広い客層に利用ニーズあり

**AirX、予約受付開始からわずか19日で予約人数100人を突破！ 西武ホールディングスと協業して運航する「東京ー下田・箱根」間のヘリ直行便**

<https://skyview.airos.jp/shimoda/> <https://skyview.airos.jp/hakone/>

### ■ご搭乗されたお客様の感想 (一部)

- ・ 行きも帰りも快適で、もう最高でした。(30代男性 | 東京→下田直行便)
- ・ 関西から仕事で東京に来ていましたが、日帰りで箱根旅行ができ、時間を有効に活用できました。(50代女性 | 東京→箱根直行便)
- ・ フライト中の眺めが楽しい上に、下田まで1時間かからないなんて驚き。また利用したい。(30代男性 | 東京→下田直行便)
- ・ 航空機が大好きなので、実際に自分がヘリに乗って移動できる日が来るとは夢のようです。(20代男性 | 東京→箱根直行便)



# (京急電鉄との実証実験 観音崎直行便、油壺)

## 実施内容

2020年2月13日 油壺マリンパーク

油壺マリンパーク、三崎マグロなど

抽選で無料/1組3名 (4組)

2020年2月27日～28日 / 観音崎 (グランピング)

東京ヘリポート ⇄ 観音崎

抽選で30,000円/1名様 (1組3名)



AirX、三浦半島を空から楽しむ「SKY RESORT MIURA」プロジェクト始動！

ヘリコプターによる三浦半島の新たな観光を提案

■ 特設サイト：<https://skyview.airos.jp/miura>



# (ANAとの業務提携 東京ヘリポート-成田空港)



ANA × AirX

“飛行機 × ヘリコプター”  
ANAとAirXが提案する「空の移動の新しいカタチ」

Monitor  
Plan  
Campaign

今なら、モニタープランを体験できる！  
キャンペーン実施中!!

空の移動が、より身近に、より速くなる！新しい「空旅」が、始まります！

ANAホールディングス株式会社と、エアモビリティの交通プラットフォームを開発する株式会社AirX（は業務提携を行い、ANAグループとして空港からその先も、空の移動にて快適に迅速に移動する体験を提案していきます。

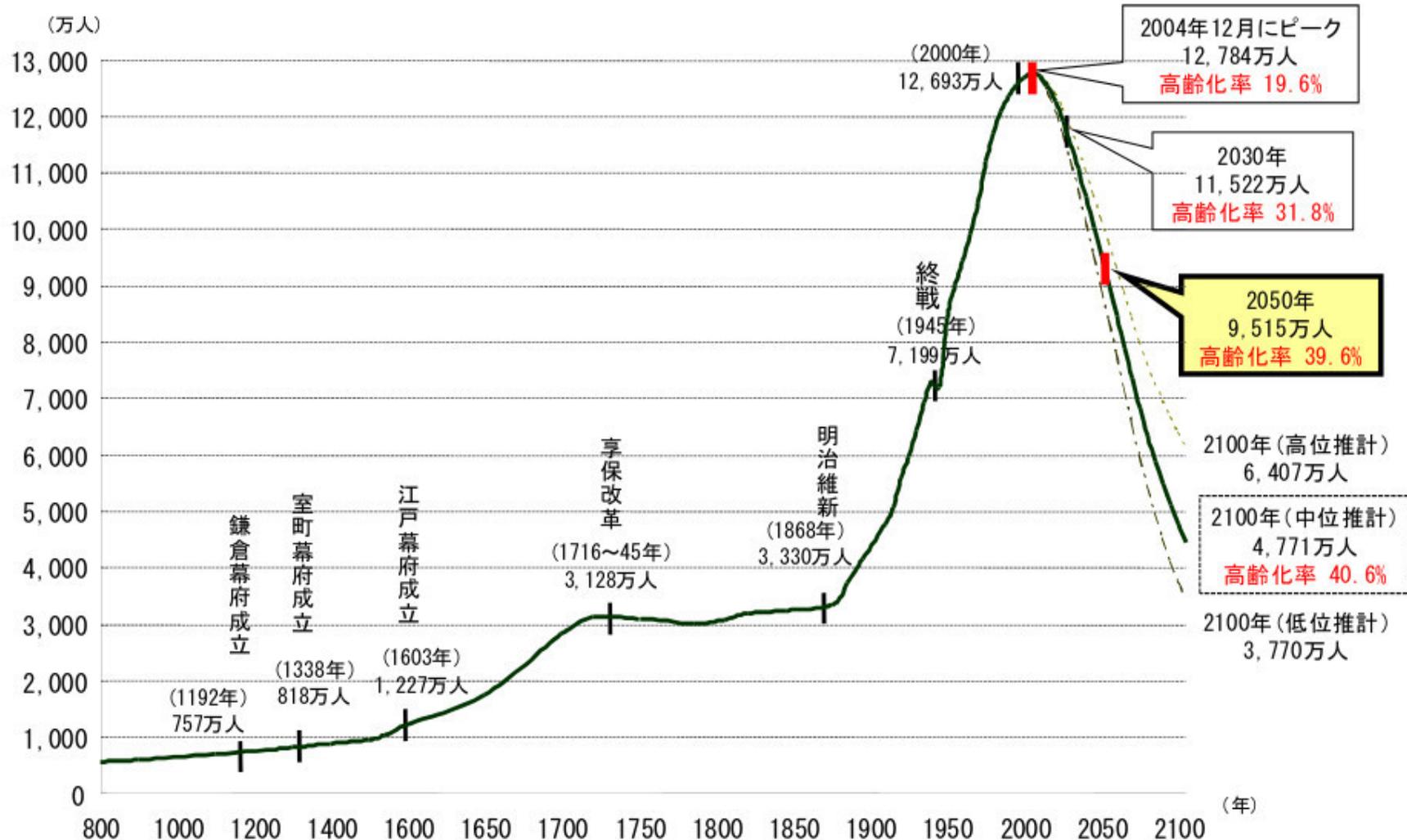
成田空港へのアクセスはヘリコプターで  
渋滞に巻き込まれず、東京⇄成田空港間を18分で最速移動  
現地、成田空港ではスタッフが空港ターミナルまでご案内  
速さと快適さを兼ね備えた、空の移動をご堪能ください



# 想定されるビジネスモデル

# 我が国の人口動態の変化

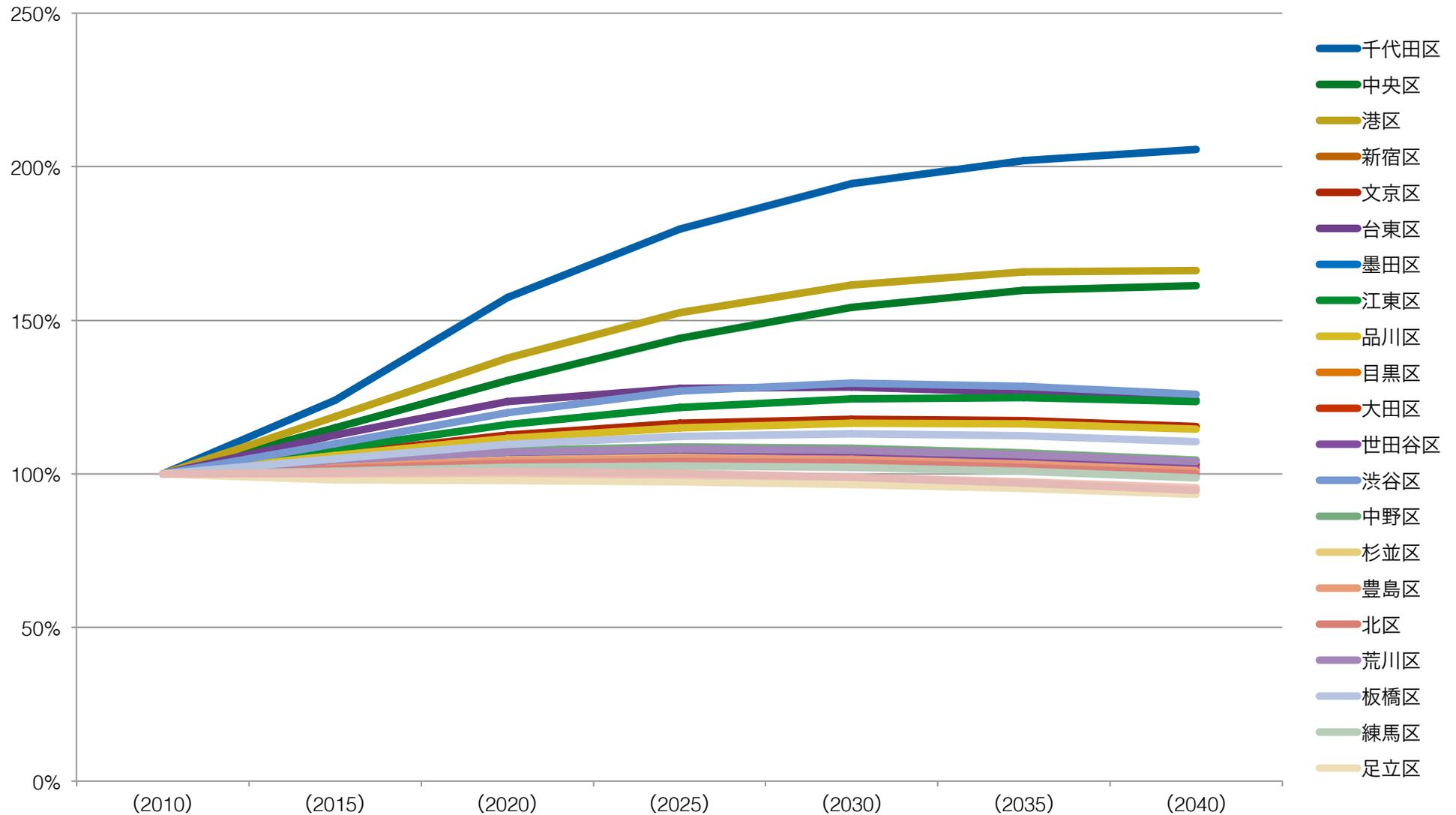
- ・インフラや公共交通の維持が困難な地域の増加  
=>輸送量にあわせ、社会全体で維持費の少ないモビリティの活用  
=>中距離移動が不便なエリアが増加する社会課題を解決する輸送手段の社会実装



(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

# 東京23区の人口増減率予測

● 東京に人口が集中。混雑や渋滞,事故が恒常的な課題に。



※東京都の統計：第1-1表 区市町村、男女別将来人口をもとに2010年を100%として計算し株式会社AirXが作成

# ビジネスモデル全体像



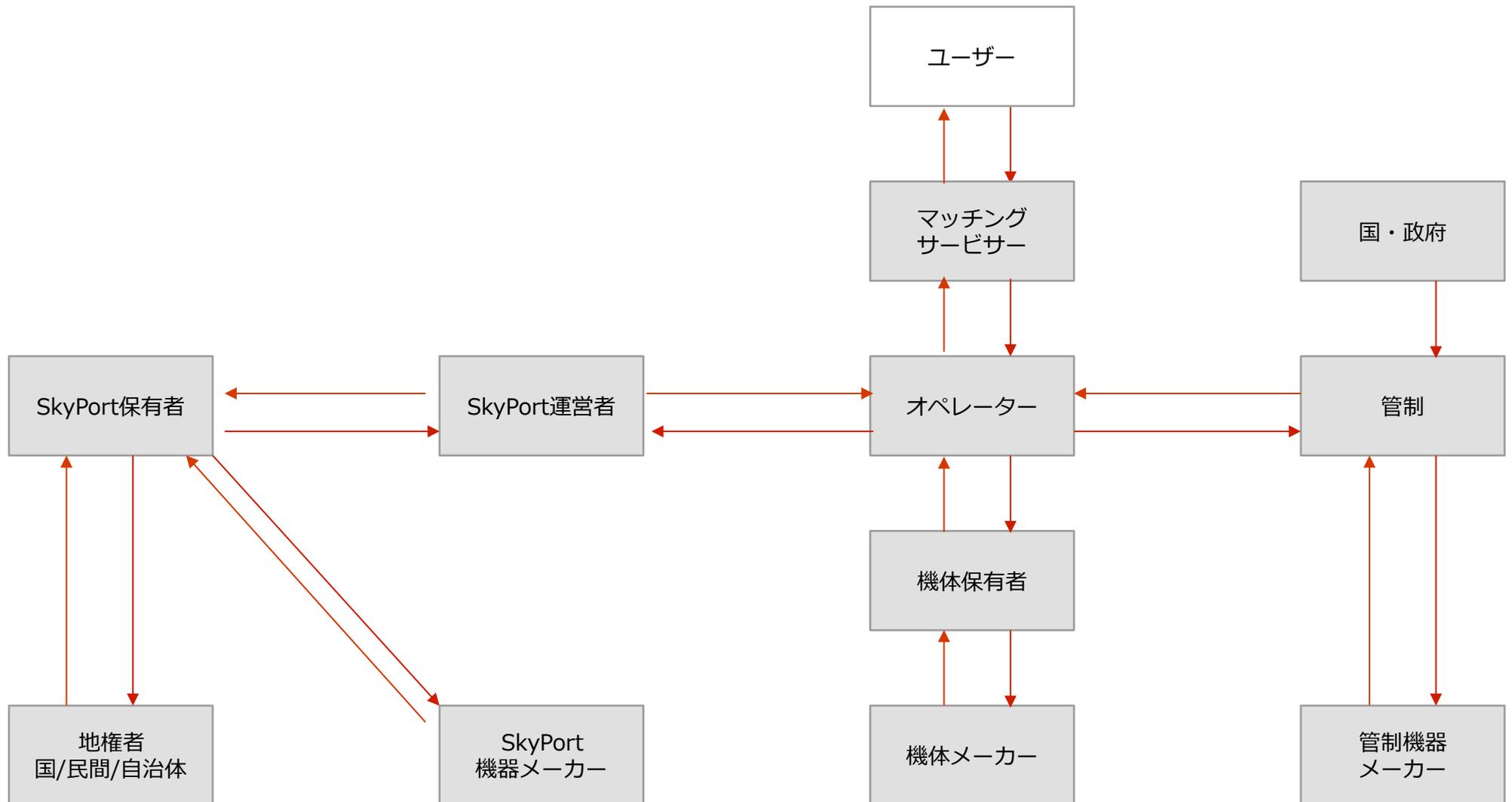
- ・ サービス提供相手
- ・ サービス内容
- ・ オペレーション体制
- ・ 使用する機体やその装備の機能及び性能（設計基準や運用現界等）
- ・ 機体の開発状況
- ・ 離発着の方法/場所
- ・ 操縦の方法
- ・ 想定されるサービスの提供の地域イメージ（飛行を予定する場所＋飛行高度）
- ・ サービス提供時の価格イメージ
- ・ ビジネスモデルを踏まえた課題（自社の課題や技術開発、制度面等）

# 本日のMTGでのフォーカス



- ・ サービス提供相手
- ・ サービス内容
- ・ オペレーション体制
- ・ 使用する機体やその装備の機能及び性能（設計基準や運用現界等）
- ・ 機体の開発状況
- ・ 離発着の方法/場所
- ・ 操縦の方法
- ・ 想定されるサービスの提供の地域イメージ（飛行を予定する場所＋飛行高度）
- ・ サービス提供時の価格イメージ
- ・ ビジネスモデルを踏まえた課題（自社の課題や技術開発、制度面等）

# 想定されるエコシステムの整理



# 想定されるサービスの整理

- 空港 ・ Airport Shuttle
- 都内 ・ Air Metro (Tokyo)
- 観光 ・ Air Taxi (island, mountains, resort)
- エンタメ ・ Air Cruising
- 物輸 ・ Air Cargo



# 空の利活用に向けた課題

## 飛ぶ環境づくり



**機体開発 / 活用ルール**  
**静粛性 / 航続距離 / 自律飛行**



# 離着陸場

継続性 / 屋上 / 早朝や夜間 / 都心部



# 人材の育成

操縦士 / 整備士 / 運航管理 / 関係者

A futuristic Airbus drone is shown flying over a city at dusk. The drone is white and blue, with 'AIRBUS' written on its side. It has four rotors and a central body. The city below is illuminated by the setting sun, and mountains are visible in the background. Another smaller drone is visible in the sky above.

OUR MISSION

空を身近に活用できる世界を構築し  
人類の生活圏を拡大する

The AirX logo features the word 'Air' in a bold, white, sans-serif font, followed by a blue swoosh that curves around the letter 'X'. The 'X' is also in white and has a blue dot above it.

**AirX**

© AirX Inc., All Rights Reserved.